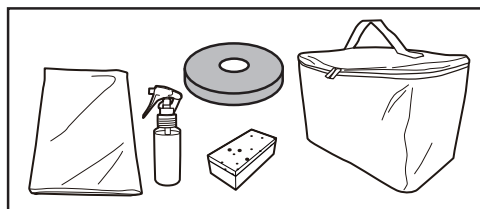
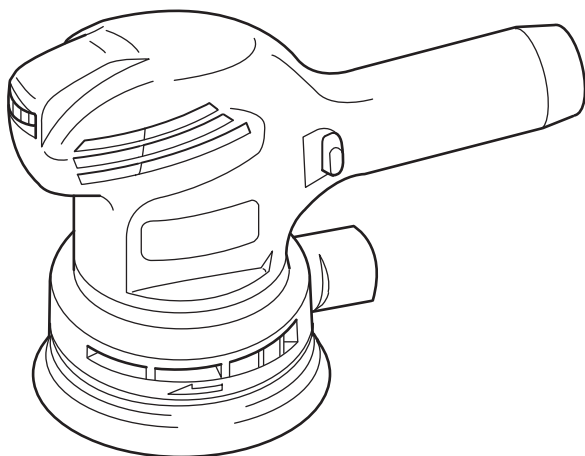


ダブルアクションポリッシャー APED130KT

車磨き専用キット

保証書付



取扱説明書

もくじ

■安全上のご注意	1 ~ 6
■各部の名称・仕様・用途	7
■付属品・別販売品	8
■ご使用前の準備	9
■ご使用前の点検	10
■操作方法	11 ~ 12
■作業方法	13 ~ 19
■別販売品について	20
■保守と点検	21
■保証書	22



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△ 警告」と「△ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。なお、「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△ 警告」・「△ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電するおそれがあります。

警告

3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
 - ・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
 - ・ 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

警告

6. きちんとした服装で作業してください。

- ・ 回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・ 保管、または修理する場合
- ・ その他危険が予想される場合

4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・ 不慣れな方のご使用は危険です。

5. 電動工具の保守点検をしてください。

- ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
- ・ スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

警告

- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

- ・指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。

8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。

警告

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。
 - ・材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
4. 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・感電のおそれがあります。

ダブルアクションポリリッシャーご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、ダブルアクションポリリッシャーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中、本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
3. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
4. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 本体を落としたときなど、事故の原因になります。
3. 使用中は、本体の底面に手など身体を近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
4. スイッチを切った後も、パッドはすぐに回転を停止しませんので注意してください。
 - ・ 手などが触れると、けがの原因になります。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

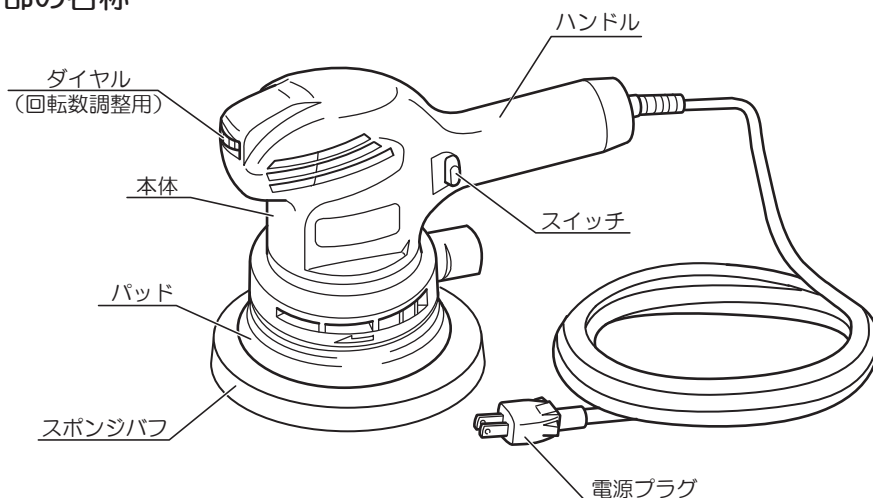
二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

各部の名称・仕様・用途

●各部の名称



●仕様

- ・ 電源…………… 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・ 定格電流…………… 3.3A
- ・ 消費電力…………… 300W
- ・ 無負荷回転数…………… 6,000～12,000min⁻¹
- ・ パッド寸法 マイクロスティック…………… (径) 123mm
- ・ コード長さ…………… 5m
- ・ 質量…………… 1.5kg
- ・ 本体寸法 (長さ×幅×高さ)…………… 226×123×151mm
- ・ 絶縁方式…………… 二重絶縁
- ・ 振動 3軸合成値[※]: EN60745-2-4 に基づき測定…………… 5.2m/s²

※『3軸合成値の取扱い』については、日本電機工業会のウェブサイトで紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

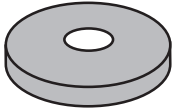
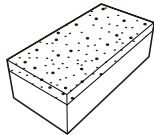
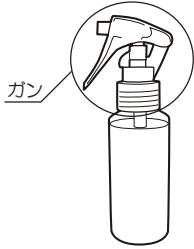
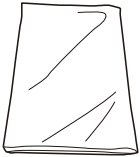

●用途

- ・ 自動車の磨き、艶出し (水垢落とし、小キズ消し、ヘッドライトのくすみ・黄ばみの除去、ドアパイザー (雨よけ)・バンパーなどの樹脂部、メッキパーツ部などの艶出し)

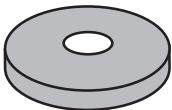

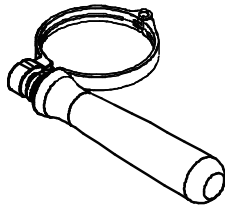
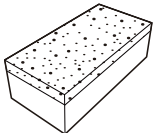
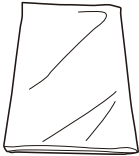
※ 付属の自動車用艶出し剤で磨くことで、同時に塗装面の保護、艶出しと撥水効果が得られます。

付属品・別販売品

●付属品

<p>スポンジバフ 外径 150mm … 1 (マジック式)</p> 	<p>手掛けバフ …… 1 (L100XW50XH32mm)</p> 	<p>自動車用艶出し剤 …… 1 (以下コンパウンド) (100ml)</p>  <p>(特徴) 磨き、塗装面の保護、艶出し、 撥水効果が得られます。</p>
<p>マイクロファイバークロス … 1 (300X400mm)</p> 	<p>収納バッグ …… 1</p> 	

●別販売品

<p>スポンジバフ (マジック式) 外径 150mm (付属品)</p> 	<p>自動車用艶出し剤 (100ml) (コンパウンド)</p>  <p>購入後、●付属品 のガンに付替えて ご使用ください。</p>	<p>補助ハンドル組立</p> 
<p>手掛けバフ (付属品) (L100XW50XH32mm)</p> 	<p>マイクロファイバークロス (300X400mm) (付属品)</p> 	



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
- ・ 別販売品の詳細につきましては、総合カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

ご使用前の準備

●作業する場所の整理

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●漏電しゃ断器設置のおすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が30mA以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードについて

⚠ 警告

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

※ 延長コードを使用すると能力の低下になります。

コードの太さ	最大の長さ
0.75mm ²	20m
1.25mm ²	30m
2.0mm ²	50m

●用意するもの

- ・付属品以外に以下のものを用意されることをおすすめします。
 - ・鉄粉除去剤またはトラップ粘土
 - ・養生（マスキング）テープなど
 - ・洗車用ふき取りクロス

ご使用前の点検

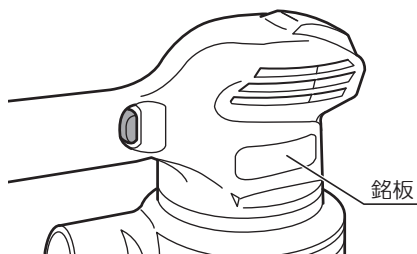
⚠ 警告

・ご使用前に次のことを確認してください。

① ～ ②項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

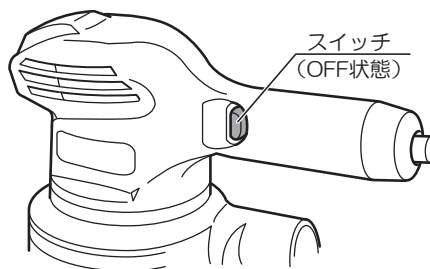
① 使用電源

・必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速となり、本体が破損するおそれがあります。また、直流電源で使用しないでください。本体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。



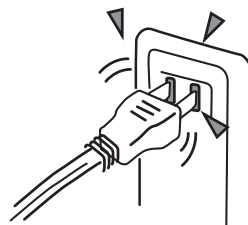
② スイッチ

・スイッチが切れて（OFF）いることを確認してください。スイッチが入って（ON）いることを知らずに、電源プラグを電源コンセントにさし込むと、不意に動き、思わぬけがの原因になります。



③ 電源コンセント

・電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントががたついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。



操作方法

●スイッチの扱い方

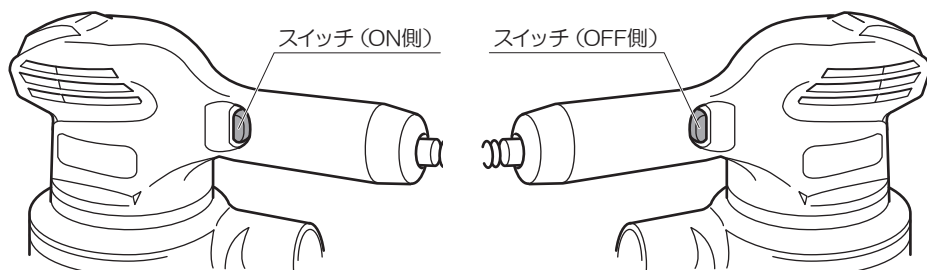
⚠警告

- ・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠注意

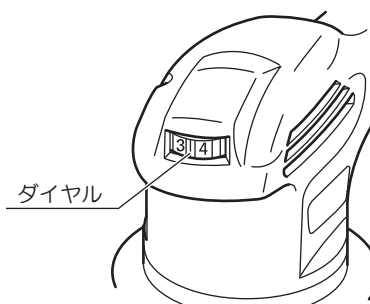
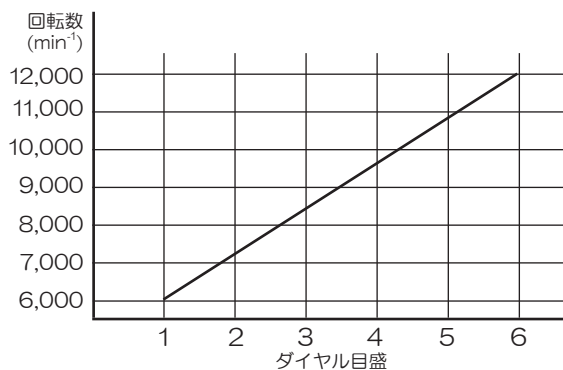
- ・ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。けがの原因になります。

- ・ 本機のスイッチは押しボタン式です。
- ・ スイッチは“ON”側から押すと入り、“OFF”側から押すと切れます。



●回転数の調整

- ・ 回転数の調整はダイヤルを回すことにより、回転数を無段階に調整できます。
- ・ ダイヤル表示は1～6までであり、数字が大きくなるに従って回転数は高くなります。

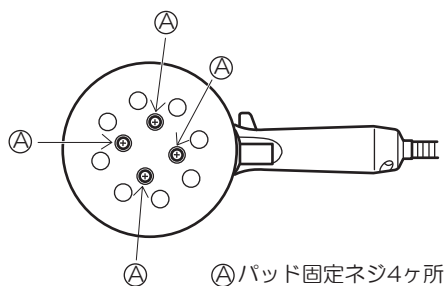


●パッドの交換

⚠ 警告

- ・パッドの交換時は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

- ・長時間ご使用になりますと、パッド（底面）の摩耗により、パフのマジック面が付きにくくなります。その際はパッドの交換をしてください。
- ・パッド面を上に向けたのちパッドを手で押さえ、パッドを固定している4本のネジⒶを、⊕ドライバでゆるめるとパッドが外れます。
- ・新しいパッドを取付ける際には、外したときの逆の要領でネジを締付けて、取付けます。



- ・パッド交換をされた場合や初めてご使用になる前には、ネジがゆるんでいないことを必ず確認してください。
- ・4本のネジⒶは、ネジ山を合わせてから締付けてください。

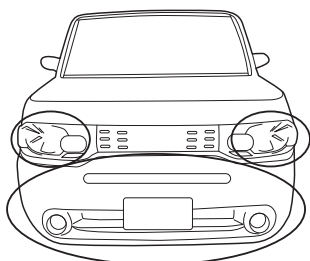
作業方法

●特徴

本品は、車を磨くための専用キットが付属されています。

- ① ボディについた水垢の除去、太陽光線にあてた時に見えるキラキラの除去が可能です。
(小傷の除去も可能ですが、程度によっては除去できない場合があります。)
- ② 磨きと同時に、塗装面の保護、艶出しと撥水効果が得られます。
- ③ ヘッドライトのくすみ・黄ばみの除去、ドアバイザー（雨よけ）・バンパーなどの樹脂部、メッキパーツ部などの艶出しが可能です。

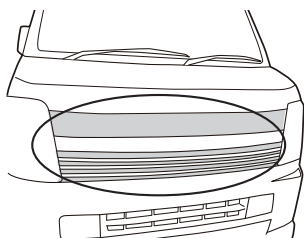
(ボディ以外の磨ける場所)



ヘッドライト、バンパーなど



ドアバイザー（雨よけ）



メッキパーツ部



樹脂部、メッキ部は、熱がでるような過度の磨きはしないでください。



ガラス面、ゴム部、足まわり（タイヤ、ホイール、泥よけ）へは使用しないでください。



ワックス、ポリマーコーティング車へ本キット品を使用した場合、既存のワックス、ポリマーは除去され、本キット付属のコンパウンドによるコーティングが施される事になります。



ガラスコーティング車への本キット品の使用は問題ありません。ガラスコーティング表面の水垢などの汚れを除去します。

●磨く前の準備

① 車を洗淨する

- ・水道水や高圧洗淨機で車全体を洗車し、泥や砂ほこりなどの汚れを洗い流します。



車に浮き出ている鉄粉（ブツブツ）や虫の死骸、ピッチ・タールは、市販されている鉄粉除去剤やトラップ粘土を使用し、あらかじめ取除いてください。異物のある状態で磨いた場合、はがれた異物によって車を傷つけてしまうことがあります。



② 水気をふき取る

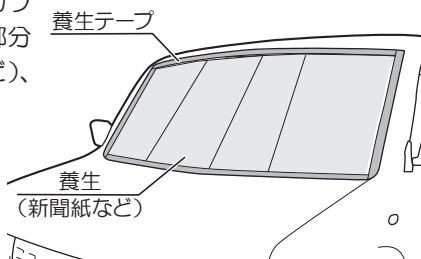
- ・洗車後は、車の水気をふき取ってください。



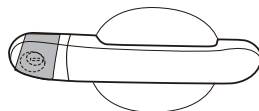
ふき取りによる洗車傷を避けるためにも市販の洗車用ふき取りクロスなどを使用してください。家庭でご使用のタオルは使用しないでください。繊維の種類によっては、車を傷つけてしまうことがあります。

③ 養生（マスキング：テープなどでふさぐこと）する

- ・磨きによるゴム部分の焼け焦げを防いだり、ガラス面へのコンパウンドの付着を防ぐためゴム部分（窓枠のようなゴムが使用されている箇所など）、ガラス面に養生してください。



鍵穴へコンパウンドが入らないよう、養生テープなどでふさいでください。



作業方法

●作業による注意点

- コンパウンド、スポンジバフは弊社純正品をご使用ください。

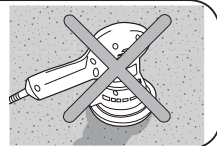


純正品以外を使用された場合、本来の仕上がりが得られないだけでなく、車に損傷を与える可能性があります。

- 車を磨くための付属のスポンジバフや手掛けバフは、スポンジ面に異物が付着しないよう十分注意してください。



右図のようにスポンジ面を下に向けた状態で異物が付着するところに置くことは絶対に避けてください。異物が付着した状態で磨くと、車を傷つけるおそれがあります。



- 付属のマイクロファイバークロスは、コンパウンドのふき取り用、細かい場所の手磨き用としてご使用ください。汚れのふき取りや、洗車のふき取りとは区別してご使用ください。
- ガラス面、ゴム部、足まわり（タイヤ、ホイール、泥よけ）への磨きはしないでください。
- 直射日光を避けた環境で作業を行ってください。直射日光により車が熱くなっている場合は、車に水をかけ、温度を下げてから作業してください。熱によりコンパウンドが固まりやすくなり、本来の性能が得られません。（水をかけた場合は、水をふき取ってください。）

- 電源コードは、肩にかける事をお勧めします。作業中に車に電源コードが接触し、車を傷つけるおそれがあります。

電源コード



- 無理に強く押しつけて作業しないでください。樹脂部、メッキ部は、熱がでるような過度の磨きはしないでください。無理に押しつけて作業すると、均一な仕上げ面が得られないだけでなく、車の損傷や本機の破損・故障の原因になります。
- 通風口を手などでふさがしないでください。モーター焼けの原因になります。
- 必ずスポンジバフを取付けた状態で使用してください。車を傷つけたり、パッド損傷の原因になります。
- 無負荷運転時には、パッドが回転しないまたは逆回転することがありますが、本機はランダム回転構造によるもので異常ではありません。パッドに軽く負荷をかけるとパッドは正回転します。

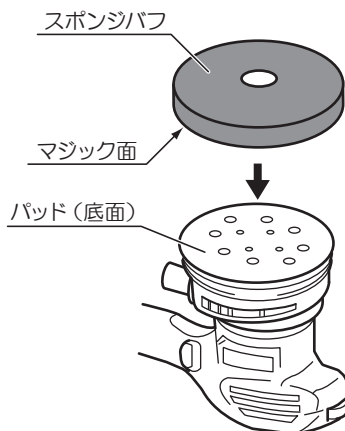
●使用する（磨く）

① スポンジバフを取付ける

⚠ 警告

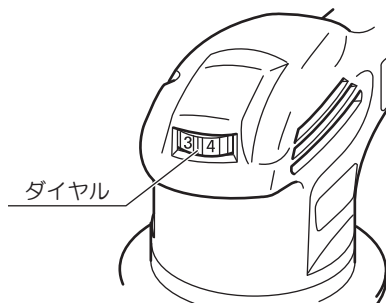
- ・ スポンジバフの取付け、取外しの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

- ・ パッド（底面）に付属のスポンジバフ（マジック面）を取付けます。
スポンジバフの中心にパッドがくるように取付けてください。



② 回転数を設定する

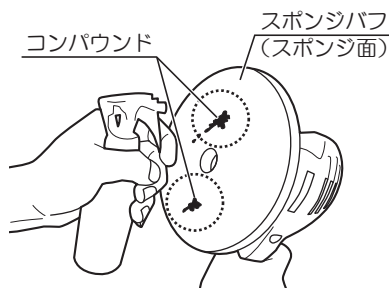
- ・ 作業時の回転数はダイヤル4をお勧めします。
細かい部分やボディ端などは、低速（ダイヤル1～2）にして作業することをお勧めします。



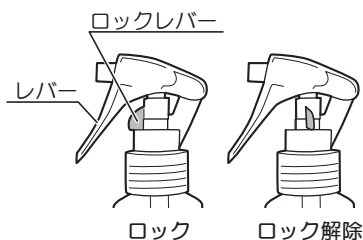
作業方法

③ コンパウンドを吹付ける

- ・ 右図のようにスポンジパフに付属のコンパウンドを適量、対角に吹付けます。
(コンパウンドの目安：2～3プッシュ)



- ・ コンパウンドは、液漏れ防止のため、購入時はレバーが引けないようロックされています。ロックを解除するには、ロックレバーを左右どちらかに90°回転させてください。

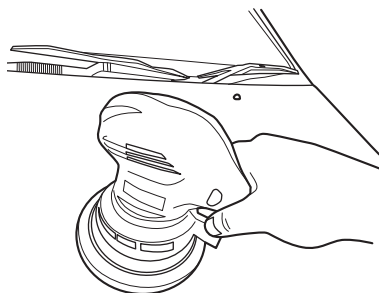


④ 磨きを始める

- ・ コンパウンドを吹付けたスポンジ面を車のボディに置いた後、スイッチを入れ (ON) ます。

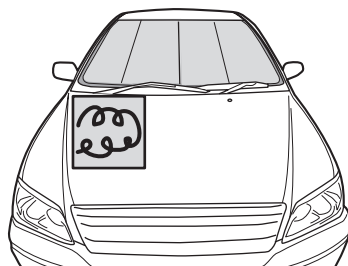


スポンジを浮かした状態でスイッチを入れると、コンパウンドが飛び散ります。



⑤ コンパウンドを広げる

- ・ 50cm角を目安として、コンパウンドを広げます。

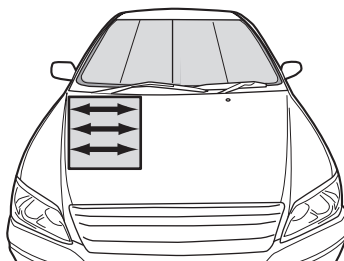


⑥ 横・縦方向に磨く

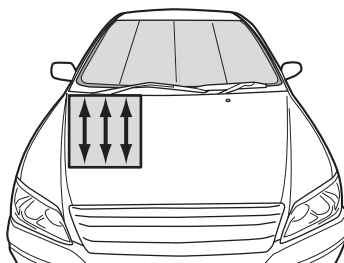
1. コンパウンドを広げたら、50cm 角範囲を横方向にゆっくり、一定スピードで動かして行きます。
(移動スピードは 50cm を約 10 秒が目安です。)

※ ゆっくり磨けば、より汚れや小傷に対し効果があります。

※ この時、本体は支える程度で、押しつけは不要です。(スポンジバフが目で追える程度の回転が最適です。)

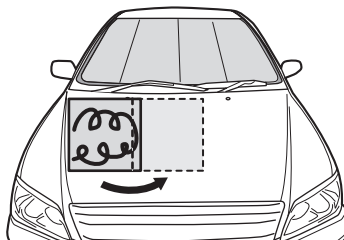


2. 50cm 角範囲を縦方向にゆっくり、一定スピードで動かして行きます。



⑦ 全体をならす

- ・ 横、縦完了後、再び 50cm 角全体をならす様に磨き、コンパウンドのムラをなくします。
その後、次の 50cm 角へと移動していきます。
- ・ コンパウンドの粉がボディに残る時は、付属のマイクロファイバークロスでふき取りながら磨いてください。コンパウンドがボディにこびりついた場合は、水で絞ったマイクロファイバークロスでふき取ってください。

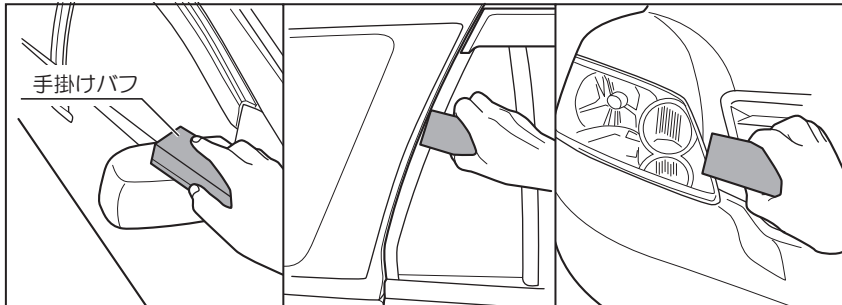


③～⑦の作業を繰返し、車全体を磨いていきます。

作業方法

● 細かい場所の磨き方

- ・細かい場所は付属の手掛けバフを使用し、手で磨いてください。
コンパウンドはスポンジ面（グレー側）につけます。

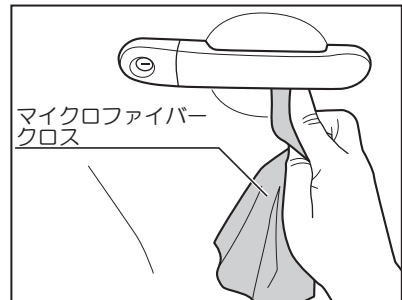


例：ドアミラー

例：ドアフレーム

例：ボンネット（フロント）

- ・手掛けバフでは難しいドアノブなどの凹部は、付属のマイクロファイバークロスに、コンパウンドを塗布し、手で磨いていきます。



● 磨き作業後

- ・作業終了後は、養生を取除いてください。
- ・隙間などに入ったコンパウンド粉は、マイクロファイバークロスでふき取るか、車全体を水洗いしてコンパウンド粉を洗い流してください。
洗い流した場合は、洗車用ふき取りクロスなどでふき取ります。

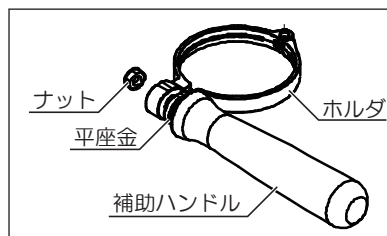
別販売品について



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
- ・ 別販売品の詳細につきましては、総合カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

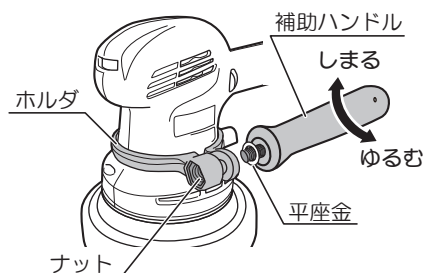
●補助ハンドル組立

- ・ 補助ハンドルを取付けることにより、両手で本体をしっかりと保持でき、安定した作業ができます。
- ・ 補助ハンドルは作業姿勢に合わせて位置調整が行なえます。



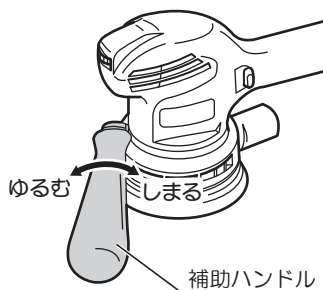
(取付け)

- ・ ホルダを開いて、本機の本体部に取付けます。補助ハンドル、平座金、ナットを図の位置に取付け、補助ハンドルを回して固定します。



(位置調整)

- ・ 補助ハンドルを回してゆるめ、補助ハンドルを動かして位置調整を行ないます。調整後は補助ハンドルを十分締付けてください。



保守と点検

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

●各部取付ネジの点検

- ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。
- 使用したスポンジバフ、手掛けバフ、マイクロファイバークロスの汚れは、中性洗剤またはぬるま湯で押し洗いをした後、水を切り、日陰で干してください。

●作業後の保管

- 本体、付属品などは収納バックに入れ、ホコリや異物が付かないよう保管してください。
- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名 APED130KT		製造番号
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話 ()	
お買い上げ日 年 月 日		保証期間（お買い上げ日より） 1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号 印	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷。
 - 工場のライン作業など、連続して長時間したことによる故障または損傷。
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷。
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合。
 - 水の浸入による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
 - 過剰な負荷で使用をされて生じた故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を記載したレシートの添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品類の場合。
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only for Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

■修理メモ



京セラ インダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512

愛知県名古屋市中白区久方1-145-1

TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、以下のQRコードまたはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本 社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>



※ リョービ販売株式会社は京セラインダストリアルツールズ販売株式会社に社名を変更しました。

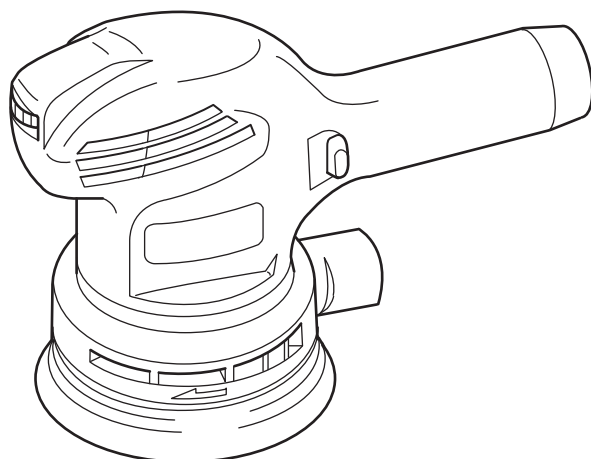


ダブルアクションポリッシャー

APED130KT 磨きかたガイド

詳しい操作方法や注意点などは、取扱説明書をお読みください。

車磨き専用キット



用意するもの

付属品	付属品以外
<ul style="list-style-type: none">・自動車用艶出し剤（以下コンパウンド）・スポンジバフ・手掛けバフ・マイクロファイバークロス（コンパウンドふき取り用）	<ul style="list-style-type: none">・鉄粉除去剤またはトラップ粘土・養生（マスキング）テープなど・洗車用ふき取りクロス

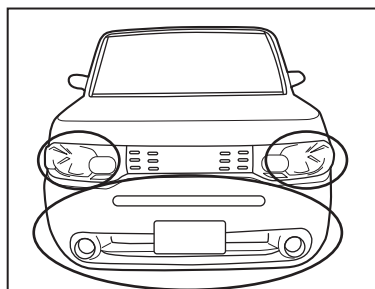
はじめに

【特徴】

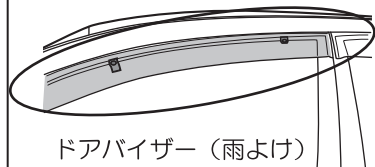
本品は、車を磨くための専用キットが付属されています。

- ① ボディについた水垢の除去、太陽光線にあてた時に見えるキラキラの除去が可能です。（小傷の除去も可能ですが、程度によっては除去できない場合があります。）
- ② 磨きと同時に、塗装面の保護、艶出しと撥水効果が得られます。
- ③ ヘッドライトのくすみ・黄ばみの除去、ドアバイザー（雨よけ）・バンパーなどの樹脂部、メッキパーツ部などの艶出しが可能です。

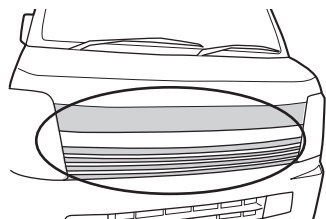
ボディ以外の磨ける場所



ヘッドライト、バンパーなど



ドアバイザー（雨よけ）



メッキパーツ部



樹脂部、メッキ部は、熱がでるような過度の磨きはしないでください。



ガラス面、ゴム部、足まわり（タイヤ、ホイール、泥よけ）へは使用しないでください。



ワックス、ポリマーコーティング車へ本キット品を使用した場合、既存のワックス、ポリマーは除去され、本キット付属のコンパウンドによるコーティングが施される事になります。



ガラスコーティング車への本キット品の使用は問題ありません。ガラスコーティング表面の水垢などの汚れを除去します。

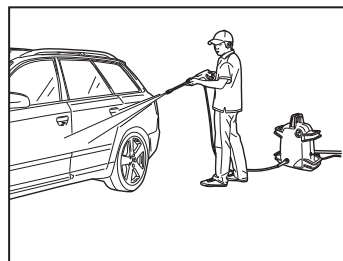
準備する

① 車を洗淨する

- ・水道水や高圧洗浄機で車全体を洗車し、泥や砂ぼこりなどの汚れを洗い流します。



車に浮き出ている鉄粉（ブツブツ）や虫の死骸、ピッチ・タールは市販されている鉄粉除去剤やトラップ粘土を使用し、あらかじめ取除いてください。異物のある状態で磨いた場合、はがれた異物によって車を傷つけてしまうことがあります。



② 水気をふき取り

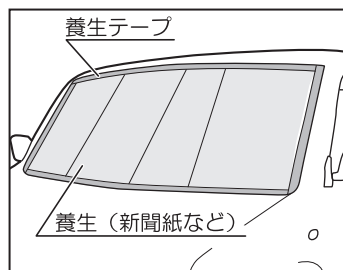
- ・洗車後は、車の水気をふき取ってください。



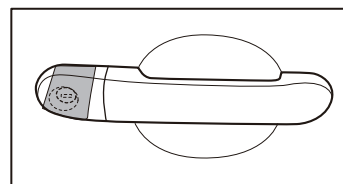
ふき取りによる洗車傷を避けるためにも市販の洗車用ふき取りクロスなどを使用してください。家庭でご使用のタオルは使用しないでください。繊維の種類によっては、車を傷つけてしまうことがあります。

③ 養生（マスキング）する

- ・磨きによるゴム部分の焼け焦げを防いだり、ガラス面へのコンパウンドの付着を防ぐためゴム部分、ガラス面に養生してください。



鍵穴へコンパウンドが入らないよう、養生テープなどでふさいでください。



使用する

【作業による注意点】

- コンパウンド、スポンジバフは弊社純正品をご使用ください。

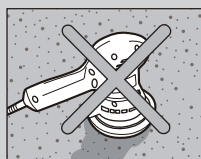


純正品以外を使用した場合、本来の仕上がりが得られないだけでなく、車に損傷を与える可能性もあります。

- 車を磨くための付属のスポンジバフや手掛けバフは、スポンジ面に異物が付着しないよう十分注意してください。



右図のようにスポンジ面を下に向けた状態で異物が付着するところに置くことは絶対に避けてください。異物が付着した状態で磨くと車を傷つけるおそれがあります。



- 付属のマイクロファイバークロスは、コンパウンドのふき取り用、細かい場所の手磨き用としてご使用ください。
汚れのふき取りや、洗車のふき取りとは区別してご使用ください。

- ガラス面、ゴム部、足まわり（タイヤ、ホイール、泥よけ）への磨きはしないでください。

- 直射日光を避けた環境で作業を行なってください。直射日光により車が熱くなっている場合は、車に水をかけ、温度を下げてから作業してください。熱によりコンパウンドが固まりやすくなり、本来の性能が得られません。（水をかけた場合は、水気をふき取ってください。）

- 電源コードは、肩にかける事をお勧めします。
作業中に車に電源コードが接触し、車を傷つけるおそれがあります。



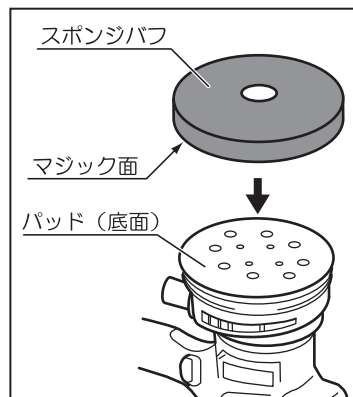
- 無理に強く押しつけて作業しないでください。
樹脂部、メッキ部は、熱がでるような過度の磨きはしないでください。無理に押しつけて作業すると、均一な仕上げ面が得られないだけでなく、車の損傷や本機の破損・故障の原因になります。

使用する

【磨く】

① スポンジバフを取付ける。

- パッド（底面）に付属のスポンジバフ（マジック面）を取付けます。
スポンジバフの中心にパッドがくるように取付けてください。



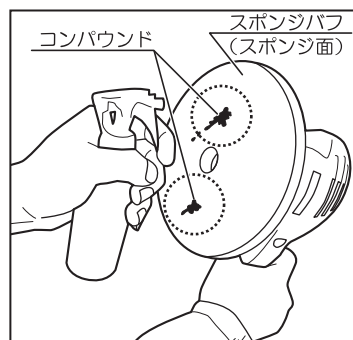
② 回転数を設定する

- 作業時の回転数はダイヤル4をお勧めします。
細かい部分やボディ端などは低速（ダイヤル1～2）にして作業することをお勧めします。



③ コンパウンドを吹付ける

- 右図のようにスポンジバフに付属のコンパウンドを適量、対角に吹付けます。
（コンパウンドの目安：2～3プッシュ）
※ コンパウンドは、液漏れ防止のため、購入時はレバーが引けないようロックされています。

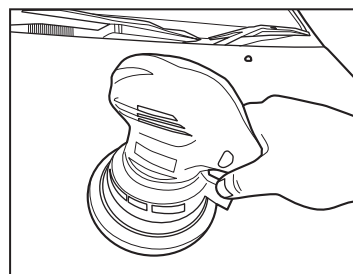


④ 磨きを始める

- コンパウンドを吹付けたスポンジ面を車のボディに置いた後、スイッチを入れ（ON）ます。

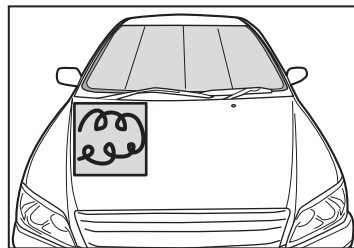


スポンジを浮かした状態でスイッチを入れると、コンパウンドが飛び散ります。



⑤ コンパウンドを広げる

- 50cm角を目安として、コンパウンドを広げます。



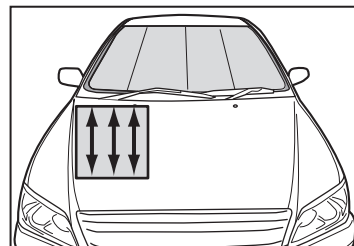
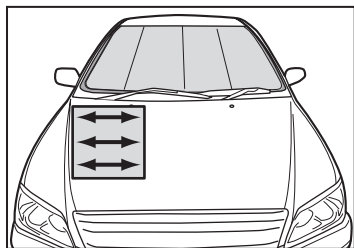
⑥ 横・縦方向に磨く

1. コンパウンドを広げたら、50cm角範囲を横方向にゆっくり、一定スピードで動かして行きます。
(移動スピードは50cmを約10秒が目安です。)

※ ゆっくり磨けば、より汚れや小傷に対し効果があります。

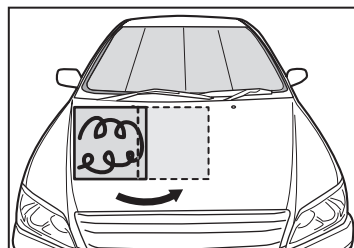
※ この時、本体は支える程度で、押しつけは不要です。(スポンジバフが目で追える程度の回転が最適です。)

2. 50cm角範囲を縦方向にゆっくり、一定スピードで動かして行きます。



⑦ 全体をならす

- 横、縦完了後、再び50cm角全体をならす様に磨き、コンパウンドのムラをなくします。その後、次の50cm角へと移動していきます。
- コンパウンドの粉がボディに残る時は、付属のマイクロファイバークロスでふき取りながら磨いてください。コンパウンドがボディにこびりついた場合は、水で絞ったマイクロファイバークロスでふき取ってください。

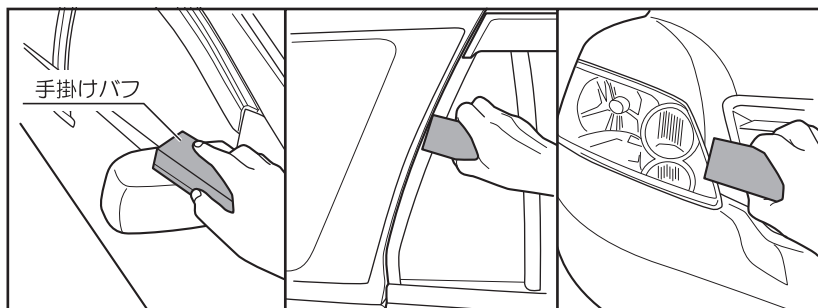


③～⑦の作業を繰り返し、車全体を磨いていきます。

使用する

● 細かい場所の磨き方

- 細かい場所は付属の手掛けバフを使用し、手で磨いてください。コンパウンドはスポンジ面（グレー側）につけます。

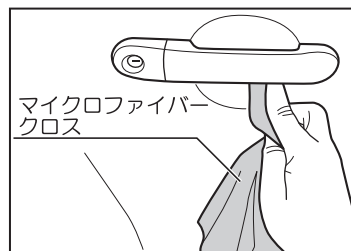


ドアミラー

ドアフレーム

ボンネット（フロント）

- 手掛けバフでは難しいドアノブなどの凹部は、付属のマイクロファイバークロスに、コンパウンドを塗布し、手で磨いていきます。



● 磨き作業後

- 作業終了後は、養生を取除いてください。
- 隙間などに入ったコンパウンド粉は、マイクロファイバークロスでふき取るか、車全体を水洗いしてコンパウンド粉を洗い流してください。洗い流した場合は、洗車用ふき取りクロスなどでふき取ります。

【作業終了後】

- 使用したスポンジバフ、手掛けバフ、マイクロファイバークロスは、中性洗剤で洗い、陰干しで乾かした後、付属の収納バックに入れ、ホコリや異物が付かないよう保管してください。